



[公式Twitter] @sendai_simc

[ボランティアブログTwitter] @simc_volblog

Vol.8-3

(2022.3.18 第8回コンクール関連 第3号)

インタビュー

佐野隆哉さん、鈴木美紗さん、法貴彩子さん、米津真浩さん

(第2～4回仙台国際音楽コンクールピアノ部門出場)

東日本大震災で被害を受けた仙台市を支援するCharity Concert for Sendaiは、第4回コンクールに出場された鈴木美紗さんとコンクールボランティアの繋がりに始まりました。中心は4人のピアニスト。その熱い気持ちに導かれ、東京での開催は9回を重ねています。

2月26日に日立システムズホール仙台で開催された「仙台国際音楽コンクールピアノ部門出場者によるスペシャルコンサート」の前日、その中心メンバーの4人にインタビューの機会をいただきました。

チャリティーコンサートを続けてきて

佐野：最初の頃は震災直後ということもあり関心が高く、多くのお客様にご来場いただきました。平時に戻るにつれ、仙台と東京との状況や意識のギャップを感じるようになりました。どうしたら多くの方が震災のことを忘れず、チャリティーコンサートに来ていただけるかということ話し合い、本格的なホールに場所を移してコンサートとしてのクオリティーを高めることにしました。回を重ねるにつれ、このメンバーが集い、毎回来ただけのお客様と会えることに喜びを感じるようになりました。いよいよ10回目を迎えようとした時、新型コロナウイルス感染症問題が発生し、延期を余儀なくされています。感染症問題が収束し、記念となる10回目のコンサートが開催できる日が来ることを待ち望んでいます。

私たちの仙台国際音楽コンクール

法貴：初めての国際コンクールで、緊張しすぎて悔しい思いをしました。予選の後、長くホームステイし、ホストの方に仙台のいろいろな所に連れて行っていただき、美味しいものも沢山いただきました。そのお陰で仙台がすごく好きになりました。素晴らしい出会いに感謝しています。

米津：演奏自体はものすごく緊張しましたが、その後連絡を取り合ったり一緒にコンサートをしたりする仲間と出会えたことは何よりもありがたかったです。帰りたくなくなって、予定していなかったホームステイを急遽申し込みました。いまでも「仙台」という言葉を聞くだけで、故郷に帰るような気持ちになります。その時のホストのお子さんが音楽大学に進まれて、指導する機会に恵まれるなど、お世話になった皆さんとの縁がずっと続いています。

佐野：開催スタッフの方が親身になって温かく迎えてくださり、ボランティアの皆さんのコンクールに対する熱いエネルギーを感じました。予選の後もチャレンジャーズ・ライブや幼稚園での演奏の機会を用意していただいたことで、人の繋がりの大事さを学ぶことができました。今でもその経験を大切にしています。

鈴木：いままで受けた中で、仙台ほど地域と密着し人との繋がりを大切にするコンクールはなく、唯一無二の存在と思っています。そこで得たご縁で今の私がいるといっても過言ではありません。

ません。ホームステイのホストの方も気さくでオープンな方でした。ご自宅でお友達を集めてホームコンサートを開いて頂いたことがすごく印象に残っています。仙台が大好きになり、最長記録といわれるくらい仙台に居座りました。



(左から)佐野さん、米津さん、法貴さん、鈴木さん

現在、そしてこれからの音楽活動について

佐野：山田耕筰のピアノ作品全集のCDを今年中に出す予定で準備を進めています。仙台ゆかりの「荒城の月変奏曲」も含まれています。

米津：演奏会がなかなか開けないので、「17LIVE」というアプリやYouTubeで映像を配信しています。2年間、ほぼ毎日配信も続けています。インターネットを活用してクラシック業界を盛り上げられればと考えています。

法貴：自分のYouTubeチャンネルでコンサートの模様を配信しているほか、来年開催予定の「ソナタの魅力と呪縛」と題したリサイタルの準備をしています。ベートーヴェン、リストに加え、ブーレーズの作品と格闘中です。

鈴木：娘が生まれたばかりで、コロナ禍の中で、今はできる範囲で演奏活動を続けていきたいと考えています。今日のリハーサルでピアノに向かい、音に埋もれるという感覚を久しぶりに味わいました。これからもこのメンバーと切磋琢磨していきたいです。

第8回仙台国際音楽コンクール出場者の皆さんへ

演奏するだけというコンクールが多い中で、仙台のコンクールは温かい雰囲気楽しく、新しい体験を得ることが出来ます。他では味わえないこの環境を満喫し、美味しいものをいっぱい食べて心身ともに健康になって、自分の音楽を作ることを楽しんでほしいと思います。出場者の個性を受け入れ、結果に関わらず応援していただける環境が揃っているので、ここで自分のファンを獲得して仙台そして日本での活躍の場を広げる機会にしてほしいですね。この環境に身を任せて、自分のメッセージを伝えようと思うだけで、その後の音楽人生に影響を与える感動が得られるでしょう。仙台はその気持ちを十分に受け入れてくれるところです。

～仙台国際音楽コンクールとは～

「仙台国際音楽コンクール」(以下SIMC)は、仙台市が開府400年を記念して2001年から3年ごとに世界に向けて開催する若手音楽家のためのコンクールであり、今回が第8回目となります。

SIMCは、ヴァイオリン部門とピアノ部門からなり、コンチェルト(協奏曲)を課題曲の中心に据えるという特色を持っています。SIMCは才能ある若い音楽家を輩出することにより、世界の音楽文化の振興および国際的文化交流の推進に寄与することを目的としています。2005年より「国際音楽コンクール世界連盟」に加盟し、その規則に則った構成で信頼性の高い運営を行っております。SIMC出場者にはその後の躍進が目覚ましい音楽家も多く、最近では2021年ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝されたシャオユ(ブルース)・リウさんは、第6回のピアノ部門4位入賞者です。SIMCに携わった方々にはとてもうれしいニュースでした。



SIMCの審査の流れは、動画データによる予備審査を経て、予選、セミファイナル、ファイナルという構成になっています。予選は、ヴァイオリン部門では独奏と仙台フィルハーモニー管弦楽団(以下仙台フィル)と山形交響楽団による指揮者なしのオーケストラとの共演、ピアノ部門では独奏で、セミファイナル以降は両部門ともSIMCのホストオーケストラである仙台フィルとの共演による演奏で審査されます。また、第7回から、ヴァイオリン部門のセミファイナルにて出場者にコンサートマスターとしての演奏が課せられることとなりました。予選以降はすべて公開で行われ、2019年開催の第7回にはのべ9,765人の聴衆が来場し、若き音楽家たちの演奏を大いに楽しみ、温かい拍手を送りました。SIMCは、多くのボランティアによる運営サポートも特徴の一つで、市民による温かいおもてなしは、SIMCの大きな柱となっています。SIMC期間中は、関連事業として、次のラウンドに進めなかった出場者が演奏する「チャレンジャーズ・ライブ」や小中学校での「学校訪問ミニ・コンサート」、若い音楽家を対象とした「審査委員によるマスタークラス」なども開催されます。青葉の季節に、杜の都仙台で多くの市民がこれらのイベントを楽しみ、世界レベルの音楽家と交流を図る機会となっており、「楽都仙台」を代表する催しに成長を遂げました。



仙台国際音楽コンクールを支える大きな力

仙台フィルハーモニー管弦楽団をもっと知ろう!【シリーズ15】

今回は首席トランペット奏者 浦田誠真さんにお話をうかがいました。



仙台フィル マスコットキャラクター
(C)MIKIO IGARASHI/S.P.O

トランペットを始められた経緯を教えてください。

中学校の吹奏楽部に入った時に始めました。吹奏楽の歴史のある中学校で、NHK交響楽団の元名物首席トランペット奏者北村源三先生も学ばれていた、当時関西ではかなり有名な学校でした。2つ上の兄も同じ吹奏楽部でトロンボーンをやっていました。

入部の際にさまざまな楽器の演奏体験コーナーがあり、フルートやクラリネットを体験しようと思っていたら、先輩に金管楽器のほうに誘われました。そこで初めてトランペットを吹いた時、全く音が鳴らなくて、「これは面白い」と思い、始めるきっかけになりました。

トランペットはどんな楽器でしょうか。

トランペットは一般的にファンファーレのイメージが強いと思いますが、オーケストラにこそぞとと言うところで信号を出す楽器だと思っています。とてもプレッシャーのかかる楽器ではありますが、やりがいのある役割でもあります。

トランペットの種類は豊富で、吹奏楽では一般的なB♭(ビーフラット)管、オーケストラではB♭管より短く2度上の音が出るC管が使われることが多いです。ドイツ語圏のオーケストラで使われているドイツ管とも呼ばれているロータリートランペットにもB♭管とC管があります。日本のオーケストラ、例えば仙台フィルではベートーヴェンやブラームスなどドイツ語圏の国の作曲家の曲には、ロータリートランペットを使うことが多いです。

そのほかにピッコロトランペット、元々ホルンの仲間だったコルネット、フリーゲルホルンなどもあります。自分の家には10数本のトランペットがあります。オーケストラでは演奏する曲によって、どの種類を選択するか、大体は奏者が判断して楽器を選びます。ときには作曲家や指揮者の指示によって楽器を選択することもあります。

演奏中はどんなことを意識して演奏されていますか。

同じ曲を演奏するとしても、会場となるホールによって、また指揮者やコンサートマスターが変わることで違ってきたりします。その中でメンバーがどんな動きをしていて今回はこういう風にいきたいと思います、という心の動きや空気を読み取って演奏することを心掛けています。首席になってからは、周りがどういう風に演奏したいのかを、より気にかけるようになりました。今まで以上に視野を広げないといけないのかなという思いがあります。以前の席と位置がひとつ変わっただけなのですが、だいぶ見える景色が変わって感じています。

仙台フィル入団の経緯を教えてください。

佐渡裕さんが芸術監督をされている兵庫芸術文化センター管弦楽団という

アカデミー要素のあるプロのオーケストラで演奏しながらレッスンを受けていた中で、北海道から広島まで各地のオーケストラのオーディションを20回受け続け、仙台フィルに合格し今に至ります。やっぱりオーケストラの中のトランペットというところに私自身すごくこだわりがあります。60~70名の音楽家で一つのものを作るというのがとても魅力に感じています。オーケストラに入れなかったら楽器をやめようかなと考えていたくらいです。

関西とは空気が違うと感じたエピソードがあります。オーディションの三次審査中に演奏した一曲がシベリウスのシンフォニーでした。オーケストラのメンバーとして演奏するのですが、最初はシベリウスのシンフォニーって、あまりピンと来ていませんでした。ところが実際に仙台に来て、雪がちらつく張り詰めた東北の空気の中、会場に向かってみると「シベリウスはこんな感じだったのかな」と腑に落ちたところがありました。

最近力を入れている活動について教えてください。

最近同世代で「ゼルコバトリオ」というグループを結成しました。トランペットとヴァイオリンとピアノのとても珍しい編成です。金管楽器の中では有名なイウエイゼンという作曲家がいて、この同じ編成のトリオの作品があり、それを演奏しようということで今年の2月に1回目の演奏会を行いました。そこではトランペットのソロ作品の演奏もしました。それが自分の引き出しも増え、オーケストラでの演奏にも活かせるのかなと感じています。

仙台国際音楽コンクールについてどんな準備をしていますか。

事前に課題曲の構造をよく理解していることが大事だと思います。曲そのものの勉強をよくするように心掛けています。コンチェルトはオーケストラとソリストのコミュニケーションが大切で、いろんな出場者と演奏するというのは反射神経でやらないといけません。そのために、十分な技術と知識の準備を心掛ける必要があります。コンクールという場面ではありますが、チャレンジする若くて才能があって熱意のある出場者の方々と共演できることはオーケストラとしても有意義なことであり、貴重な時間でもありますので、一緒に楽しく演奏できることを楽しみにしています。



浦田誠真さん

第8回仙台国際音楽コンクール出場者決定！！

新型コロナウイルス感染拡大の影響が心配されましたが、第8回仙台国際音楽コンクールには、これまでで最多となる、41の国と地域から573名もの申込みがありました。

予備審査は、世界中の申込者よりコンクール事務局に送られた演奏動画を元に、慎重に行われました。そしてこのたび、ヴァイオリン部門は135名の申込者の中から43名が、ピアノ部門は438名の中から42名が選ばれ、2022年5月21日(土)~6月26日(日)に開催される仙台でのコンクールに出場することが決まりました。

過去の仙台国際音楽コンクールに出場経験がある方は、ヴァイオリン部門では、古澤香理さん、石原悠企さん、城戸かれんさん、松岡井菜さん、関朋岳さん。ピアノ部門はキム・ドンギユ・レオさん、ジョスカン・オタルさんです。また2021年の日本音楽コンクールのヴァイオリン部門で1位となった中野りなさんはじめ、他の有名コンクールの入賞者も多数出場します。

仙台国際音楽コンクールは、世界に大きく羽ばたきつつある、才能あふれる若き演奏家たちの渾身の演奏を、一度に聴き比べることができるたいへん贅沢な機会です。音楽に詳しい方にもそうでない方にも、ぜひ多くの方に審査委員の一員になったつもりで楽しんでいただきたいと思います。予選の段階からお気に入りの出場者を見つけて、ずっと応援していくのも楽しいですよ。

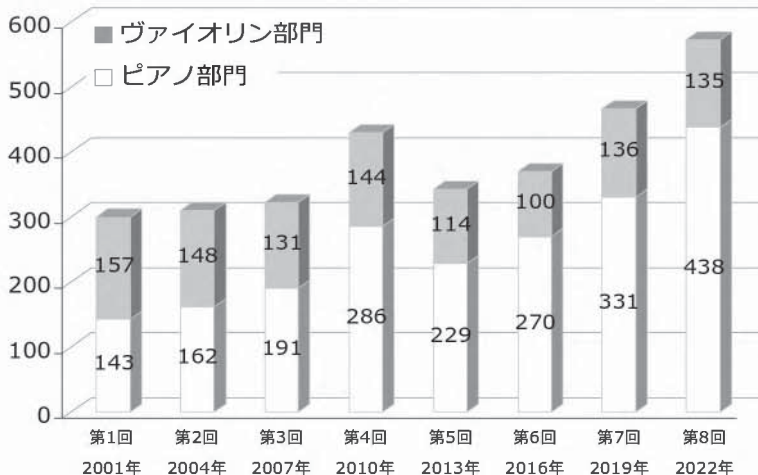
ヴァイオリン部門

No.	氏名	国・地域
1	ジュリア・アンジェロフ	アメリカ/日本
2	ベク・チホン	韓国
3	イェフゲニス・セボヴェキス	ラトビア
4	ジェームズ・チェン	オーストラリア
5	チェン・イーハオ	台湾
6	チョ・ソンミン	韓国
7	ドン・リンユー	中国
8	ヴァチスラフ・エルモラエフ	ロシア
9	古澤 香理	日本
10	デニス・ガサノフ	ロシア
11	ヤニス・グリソー	ルクセンブルク
12	ホン・ソンナン	韓国
13	石原 悠企	日本
14	ミレイ・イトウ	アメリカ/日本
15	チン・イェヨン・ジェニー	韓国
16	カン・ナヘ	韓国
17	カスプシャック 舞彩 アレクサンドラ	日本/ドイツ/ポーランド
18	河井 勇人	日本
19	城戸 かれん	日本
20	キム・シジュン	韓国
21	橋和 美優	日本
22	アリス・ハキョイ	カナダ
23	イ・ユジン	韓国
24	マー・ティエンヨウ	中国
25	松岡 井菜	日本
26	エマ・マインレンゲン	カナダ/ドイツ
27	ジョージ・モロズ	ウクライナ
28	中嶋 美月	日本
29	ナオコ・ナカジマ	アメリカ/日本
30	中村 友希乃	日本
31	中野 りな	日本
32	大倉 佳栄	日本
33	オードリー・バク	アメリカ
34	タミ・ボヒョラ	フィンランド/日本
35	アンドリュウ・サマラセカラ	イギリス
36	五月女 陽	日本
37	佐々木 美緒	日本
38	関 朋岳	日本
39	島方 瞭	日本
40	竹内 鴻史郎	日本
41	クリスティーン・ウー	アメリカ
42	山内 真紀	日本
43	吉田 南	日本

ピアノ部門

No.	氏名	国・地域
1	ヨナス・アウミラー	ドイツ
2	ステファン・ボネフ	ブルガリア
3	テオデム・ジロー	フランス
4	ヤコボ・ジョヴァンニ	イタリア
5	サミュエル・グリックリッチ	アメリカ
6	ジョージ・ハリオン=エヴァンス	イギリス
7	ホウ・イーシヤン	中国
8	岩井 亜咲	日本
9	チョン・ジョンファン	韓国
10	チョン・チャヨン	韓国
11	開原 由紀乃	日本
12	神原 雅治	日本
13	キム・ドンギユ・レオ	韓国
14	ジョンファン・キム	ドイツ
15	キム・セヒョン	韓国
16	キム・ソンヒョン	韓国
17	小井土 文哉	日本
18	黒崎 拓海	日本
19	イ・セボム	韓国
20	イ・テッキ	韓国
21	リン・ハオウェイ	台湾
22	ルウオ・ジャチン	中国
23	レオ・デ・マリア	スペイン
24	ナイル・マヴリウドフ	ロシア
25	メイ・ユーボン	中国
26	ムン・ソンウ	韓国
27	オシップ・ニキフォロフ	ロシア
28	小野寺 拓真	日本
29	太田 糸音	日本
30	ジョスカン・オタル	フランス
31	ヴァイタリー・スタリコフ	ロシア
32	ソン・ゴウン	韓国
33	スン・ユートン	中国
34	エドヴィン・スヴァイコフスキ	リトアニア/ポーランド
35	田所 光之マルセル	日本/フランス
36	田母神 夕南	日本
37	ジョージ・トディカ	ルーマニア
38	アナスタシア・ヴォロトナヤ	ロシア
39	ユアンファン・ヤン	イギリス
40	イェ・ファンチョウ	中国
41	イェ・シーシエン	台湾
42	ノア・チョウ	イギリス

仙台国際音楽コンクール出場者数の推移



第8回コンクール国別出場者数

ヴァイオリン部門		ピアノ部門	
日本	17	韓国	9
韓国	7	日本	8
アメリカ	2	中国	5
アメリカ/日本	2	ロシア	4
ロシア	2	イギリス	3
中国	2	台湾	2
イギリス	1	フランス	2
ウクライナ	1	日本/フランス	1
オーストラリア	1	ルーマニア	1
カナダ	1	リトアニア/ポーランド	1
カナダ/ドイツ	1	ブルガリア	1
フィンランド/日本	1	ドイツ	1
ラトビア	1	スペイン	1
ルクセンブルク	1	イタリア	1
台湾	1	アメリカ	1
日本/ドイツ/ポーランド	1		



The 8th

SENDAI
INTERNATIONAL
MUSIC
COMPETITION
for Violin & Piano

第8回仙台国際音楽コンクール チケット情報

販売開始：2022年4月22日（金） 10:00から

開催期間：2022年5月21日（土）～ 6月26日（日）

[ヴァイオリン部門] 2022年5月21日（土）～ 6月5日（日）

[ピアノ部門] 2022年6月11日（土）～ 6月26日（日）

会場：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）



*未就学児のご入場はお断りいたします。開場は開催時間30分前です。

*車椅子ご希望の方は仙台国際音楽コンクール事務局までお問合せください。

	ヴァイオリン部門	ピアノ部門	座席	料金(税込)
予選	5月21日(土)12:30 5月22日(日)12:30 5月23日(月)10:30	6月11日(土)10:00 6月12日(日)10:00 6月13日(月)10:00	全席指定	1,000円
セミファイナル	5月27日(金)18:00 5月28日(土)14:00 5月29日(日)14:00	6月17日(金)18:00 6月18日(土)14:00 6月19日(日)14:00	全席指定	S席:3,500円 A席:2,500円
ファイナル	6月2日(木)18:00 6月3日(金)18:00 6月4日(土)15:00	6月23日(木)18:00 6月24日(金)18:00 6月25日(土)15:00	全席指定	S席:3,500円 A席:2,500円
入賞者記念 ガラコンサート	6月5日(日)14:00	6月26日(日)14:00	全席指定	S席:5,000円 A席:4,000円
審査委員による マスタークラス	5月30日(月)11:00 5月31日(火)11:00	6月20日(月)11:00 6月21日(火)11:00	全席自由 (日付指定)	一般:1,000円 学生:500円

[チケット取扱]

- 仙台国際音楽コンクール公式サイト <https://simc.jp>
- 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター) 1階事務局 (受付時間) 9:30～19:30
販売初日(4/22)は10:00から一斉販売 *休館日は取扱いたしません
- チケットぴあ (Pコードはコンクール公式サイトをご確認ください)
[インターネット] <https://w.pia.jp/t/simc2022>
[コンビニ] セブンイレブン各店(マルチコピー機)



コンクール公式サイト
<https://simc.jp>

主催：仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、公益財団法人仙台市市民文化事業団
お問合せ：仙台国際音楽コンクール事務局(公益財団法人仙台市市民文化事業団内) Tel.022-727-1872(平日9:30～17:00)

♪編集後記♪ 新規加入メンバーより



プロボノ並みの広報宣伝チームに初参加させていただき、レベルの高さに刺激を受けつつ模索しています。今回担当した「出場者紹介」が皆様のお役に立てば幸いです。(範)

ボランティアに参加させて頂いて、一番嬉しかったことは演奏家の方へのインタビューです。音楽に対する想いや考え方、生き方などを聞かせて頂きとても刺激を受けました。(池)

以前から活動している知人に誘われ、継続的に様々な出会いや紙面づくりができる広報Gが自分には合っていると入会しました。(竹)

コンクール参加者の方が仙台で素敵な演奏ができるように、そして仙台のことを好きになってもらえるようにサポートしたいと思います。よろしく願いいたします!(朝)

発行：第8回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

